

ふくしま ★ゆめ トライ★

福島県内で夢に向かって
新たなチャレンジをしている方、
地域を盛り上げるために
頑張っている方を紹介します！



ワインの試飲はもちろん、購入もできる
セラードア。どの食事に合うかも分かるの
で、お気に入りの一本が見つかります。

福島の酒文化に ワインという新たな香りを添えたい

株式会社 吾妻山麓醸造所
代表取締役 牧野修治さん（福島市）

醸造所に隣接するセラードア（試飲直売所）
で自慢のワインを手に笑顔の牧野さん。
「ブドウ畑が一望できるこの場所で、ぜひ
おいしいワインを飲んでください!!」



ワインを最高の状態で出荷するため、日頃の品質
管理が欠かせません。



約1ヘクタールのブドウ畑とセラードア。

宮城県仙台市出身の牧野修治さん。ワインに魅了され、アメリカの大学でブドウ栽培とワイン醸造を学び、2009年に山梨県のワイナリーに就職。経験を積む中、東日本大震災が発生しました。生まれ育った東北の復興のため、恩返しをしたい。そんな思いが日々増す中、吾妻山麓醸造所の前社長、横山泰仁さんと出会いました。「福島市初のワイナリー設立に力を貸してほしい」と話があり、2021年に福島市へ移住しました」と牧野さん。当初はアドバイザーの立場でしたが、2021年に社員となり、2024年には代表取締役に就任。現在は、栽培と醸造を統括し、営業活動も行っています。

大事にしているのは「ブドウ本来の味わいを引き出すこと」。「味の8割は原料の質で決まるため、草刈りや剪定などの農作業を丁寧にし、ブドウに栄養を行き渡らせています」と牧野さん。そのおいしさが評価され、創業からわずか数年で「日本ワイナリーアワード2025 3つ星」や「SAKURA Award 2025 シルバー賞」など数々の賞を受賞しています。これからの目標は、「福島県産日本酒」というイメージにワインも加えること。そのために、県内のワイナリーと協力して、県内産のワイン用ブドウの収穫量を増やし、福島のワインをPRしていきたいと意気込みます。これからも牧野さんの活動から目が離せません。

〒福島市桜本字梨子沢4-2
☎ 024(563)5057



読者からのお便り

「ゆめトライ」を読みました。これからも、よさこいで福島を盛り上げてほしいと思います！（30代 福島市）

2026年 2月号 2025年 12月号
ゆめたより